

CQI and IRCA オンライン試験：異議申し立て方針

異議申し立てとは、決定事項の見直しを求める正式な申請です。異議申し立てでは、正しい方針とプロセスが遵守され、公正に適用されているかどうかを検討します。受験者は、以下に関して CQI に異議申し立てをすることができます。

1. 「不合格」判定に対する異議申し立て
2. 不正行為の判定に対する異議申し立て
3. 合理的調整または特別な配慮に関連する決定に対する異議申し立て

「不合格」判定に対する異議申し立て

受験者が次のことを考慮する場合、異議申し立てを申請することができます。

- 採点・合否決定のプロセスに関連してエラーが発生した場合
- 1つまたは複数の問題の表現または翻訳に問題があり、それが受験者の合否結果に悪影響を与えた場合。

注意事項： インターネット接続の問題、PC/ノートパソコンのハードウェアやソフトウェアの問題による「不合格」の判定の結果に対する異議申し立ては受け付けませんので、ご注意ください。受験者は、試験中に自身のパフォーマンスに影響を与えたと感じる技術的な問題が発生した場合は、「特別な配慮」のプロセスに従う必要があります。

不正行為の判定に対する異議申し立て

不正行為とは、「評価プロセス、CQI and IRCA 認定コースの完全性、結果または証書の有効性、CQI自体やCQI and IRCA 認定コースの評判および信頼性を損なう、または損なうおそれのある故意の行為、怠慢、不履行、その他の行為」を意味します。オンライン試験に関連する受験者の不正行為の例としては、以下のようなものがあります。

- 事前に、および/または試験中に、機密資料（試験問題や解答など）を入手すること
- いかなる形式または手段によって、試験問題、解答またはコンテンツへのアクセスを、提供、開示、配布、コピー、写真撮影、記録、ダウンロード、または送信すること
- 試験中に受験者本人を偽ったり、他の人になりすましたりすること
- 他の誰かが自分の代わりに試験を受けるように手配すること
- 試験中に他の人の試験を手伝ったり、オンラインまたは直接支援を受けたりすること
- 他の受験者の解答をコピーすること、または別の受験者が自分の試験の解答をコピーする行為を故意に許可すること
- 試験中の不適切な行動（例：攻撃的な言葉を使うなど）

- 携帯電話、電子機器、スマートウォッチ、ヘッドフォン、イヤホンなど、許可されていないものを試験中に所持していること、及び、受験者が使用するか否かに関わらず、例に挙げているような機器の所持は不正行為とみなされます
- ウェブカメラやマイクをオフにすること、顔を覆うもので顔を隠すこと、ウェブカメラの位置を変えることなどにより、常に顔がはっきり映らないようにすること

不正行為は、受験者の試験監督用の録画の分析中、あるいは試験の前後で CQI が受け取った情報により特定される場合があります。不正行為を行っているとは判定を受けたすべての受験者は、試験結果の合否にかかわらず、「失格」の結果を受け、不正行為の詳細が提供されます。CQI は、受験者から一定期間または無期限で今後の CQI 試験の受験資格を剥奪する権利を留保します。

合理的調整または特別な配慮の決定に対する不服申し立て

CQI は、一部の受験者が、以下の理由により習得を実証することができない可能性があることを認知しています。

- 永久的または長期的な障害、学習困難、または病状
- 試験直前または試験時における、一時的な障害、病気または体調不良
- 試験時または試験中の状況

詳細については、CQIの合理的調整および特別な配慮に関する方針をご覧ください。受験者は、これらの申請に関する CQI の決定に対して異議を申し立てる権利を有します。

異議申し立てのプロセス

異議申し立てをする場合は、申請を提出する前に研修機関と相談することを強くお勧めします。異議申し立てを行うことを決定した場合、「[CQI and IRCA オンライン試験：異議申し立て申請フォーム](#)」（CQI のウェブサイトおよび研修機関から入手可能）に必要事項を記入する必要があります。試験の合否結果、または合理的調整もしくは特別な配慮の申請に対する決定をCQIより受け取ってから 英国の14営業日以内に、異議申し立て申請フォームと証拠書類を [ヘルプリクエストフォーム](#) を使用して送信してください。

CQIは、電子メールを確認し、以下の期間で異議申し立てを処理します。

- 合理的調整に関する申し立て - 英国の2営業日以内
- 特別な配慮に関する申し立て - 英国の10営業日以内
- 「不合格」結果に関する申し立て - 英国の10営業日以内
- 不正行為の判定に関する申し立て - 英国の10営業日以内

異議申し立ての申請に対する決定は、該当の案件に対して過去に関与したことがなく、決定に対して個人的な利害関係のないCQIのシニアスタッフが行います。

異議申し立ての調査担当者は、もともとの決定で使用された証拠と、受験者が提出した追加証拠を再調査します。CQIは、もともとの決定に至る過程において、一貫して適切かつ公正なプロセスが適用されたかを考慮します。不正行為に関する異議申し立てについては、不正行為の判定を裏付ける十分な証拠があったかどうか、今までの事例や受験者から提供された追加情報に照らしてその判定が適切であったか、また、該当の不正行為が起こりうる確率とのバランスに基づいて調査する者が考慮することになります。

CQIは、受験者および研修機関に、異議申し立ての結果、及びどのようなフォローアップの措置が取られたかをメールで通知します。尚、これ以上の異議申し立ては受理できません。

CQIは、すべての異議申し立てとその判定に関する記録を5年間保存します。

※ 本文書は[英文版](#)が正であり、日本語版は参考として作成されています。これら両言語版の間に齟齬がある場合、英文版の内容が優先されます。